

令和元年12月23日

学生・企業の接続において長期インターンシップが与える効果の文科省調査案

文部科学省高等教育局学生・留学生課

【調査目的】

就職・採用活動に関連して実施されているインターンシップについて、その実態等を把握し、今後の時代にふさわしい学生と企業の就職・採用の在り方について検討を行うための参考資料を得るため、調査を実施する。

①学生向け

- ・経験したインターンシップが、その経験期間に応じて、その後の学修行動（大学外、大学内）や大学生活、大学外での行動等にどのような影響を与えるかを調査する。

②大学向け

- ・学生の参加したインターンシップの中で、教育的効果の高いインターンシップ・比較的長い期間のインターンシップが、その他インターンシップと称して行われているもの（もしくは参加していない）に比べてどのような特徴的な効果が現れているかを調査する。

【調査対象】

- ①学生：下記②の大学に所属する学生へ無差別に調査。（概ね5千人規模とし、そのうち一週間以上1か月未満を1千名、1か月以上を50名程度）
- ②大学：インターンシップの届出表彰制度に参加している大学のキャリアセンターの教職員向けに質問（可能な限り協力の下、回答）

【調査手法】

- ・調査会社から、①学生についてはアンケート調査、②大学については、アンケート調査及び特定の5大学へのヒアリングを実施。
- ・その他、（独）日本学生支援機構が実施したキャリアセンター担当者へのアンケートも一緒に分析。

【質問事項】

- ・別紙参照

